



大田区立清水窪小学校

# かしわ

清水窪小学校の教育目標

- 自然や友達を大切にする子ども
- 心身ともにたくましい子ども
- よく考え、最後までやりぬく子ども

令和5年度 2月号

## 科学的に考える学びの中で

副校長 山崎 省吾

昨年末、とある交差点で信号待ちをしていると、子ども用自転車を押しながら近づいてくる女性がいました。さて私の隣に並んだその母親と思しき方の言動は次のうちどれだったでしょうか。

- ① 歩行者の邪魔にならないように黙って自転車の向きを変えた（ガードレールに沿う形で）
- ② 「邪魔にならないようにすることが大切。そのためにはね…何故かというね…」と子に説明した
- ③ 「こういうときは、どうしたらいいと思う？」と子に問いかけた

私が目の当たりにしたのは②でした。その後、二人は足早に横断歩道を渡って行きました。近年改正が続く交通ルールを含め、マナーも教えていたのでしょうか。雑駁ではありますが、上記のことを教育用語でいうと①示範②教えて考えさせる指導③問題解決学習となるのでしょうか。①は模範を示し、垂範することで「人的教育環境」子どもの周囲にいる保護者、教職員の人格や品性、そして地域社会のありようが問われてきます。②は教えることと考えさせることのバランスを重視します。③は問題解決への努力を通して経験や知識を再構成し、自主性、創造性、批判的思考力を高めます。上記のように児童の命に関わる安全指導では、向かって来るバイクのスピードや曲がってくる自動車のタイヤの内輪差、路面の状態等から考えさせる安全指導もあります。

さて、朝夕の寒さが日ごとに募ってきましたが、天体観測には最適な気候となりました。東京の空でもよく目にすることができるおおいぬ座のシリウスは8.6光年一つまり8.6年前に輝いた光が「今」届き、北極星に至っては400光年—400年前の光がやっと届いているといいます。このことから宇宙の広さが如何に計り知れないものかわかります。過日は月に関するビッグニュースが飛び込み「アルテミス計画」にもさらに期待が膨らむようになりました。先月中旬にはふたご座流星群が観られ、月近くの土星も目立って輝いていました。2035年には皆既日食が観られるといいます。11年後子どもたちは成人し、社会人として活躍している子どもいることでしょう。天体を学ぶ上でプラネタリウムを通して夜空の星々の「瞬き」「囁き」に触れることもできます。今年に欧州にプラネタリウムが誕生して100年ですが、明石市立天文科学館館長は星々への魅力を次のように述べています。「ここで美しい星を観ていると、自分が宇宙の中にいて、宇宙の一部であって、それがいかに奇跡的であるのかを思うからではないでしょうか。」—科学的な見方とは別の見方で日々天を仰いで様々な考えを深めていくことも大切であるということを見せてくれているような気がします。

## 2月 学校行事予定

日	曜	行事予定	放課後
1	木	学級の時間 歯みがき検査4年フッ化物塗布 B時程	○
2	金	読書タイム	○
3	土		
4	日	校庭開放	
5	月	全校朝会 B時程 補習3年	○
6	火	音楽朝会 歯みがき検査16年	○
7	水	安全指導 午前授業 補習456年	○
8	木	たてわり班遊び1～7班／読書8～13班 B時程12年のみ午前授業 新1年生保護者会	○
9	金	たてわり班遊び8～13班／読書1～7班	○
10	土	校庭開放	
11	日	建国記念の日 校庭開放	
12	月	振替休日	
13	火	スキルタイム 区小学生漢字検定 東工大研究室訪問3年	○
14	水	学級の時間 午前授業 補習3年 サイエンスフェスティバルウィーク始	○
15	木	卒業おめでとう集会準備 B時程 避難訓練(火災)	○
16	金	読み聞かせ	○
17	土	土曜授業日 土曜補習教室3456年 学校運営協議会	×
18	日	校庭開放	
19	月	全校朝会 B時程 クラブ(3年見学)	○
20	火	スキルタイム 学校保健委員会	○
21	水	委員会発表 午前授業 補習456年 サイエンスフェスティバルウィーク終	○
22	木	卒業おめでとう集会準備 B時程	
23	金	天皇誕生日	
24	土	校庭開放	
25	日	校庭開放	
26	月	全校朝会 B時程 委・代・た班長会議 補習3年	○
27	火	スキルタイム 東工大研究室訪問6年	○
28	水	卒業おめでとう集会 B時程 補習456年	○
29	木	学級の時間 保護者会(高)	○

### ◆郵便局振込み

今月は教材費(3学期会計報告参照)の引き落としが2月13日(火)にありますので、12(月)までにご入金をお願いいたします。各学年によって、校外学習費用等が必要になることがありますので、各学年のお知らせもご確認ください。給食費は区の給食無償化の施策により、6月分から徴収はありません。



## 2月の生活目標

### 「寒さに負けず元気に過ごしましょう」

#### 生活指導部

寒さが厳しい時期になってきました。そんな寒さにも負けずに、子どもたちは、休み時間に外に出て、元気いっぱい遊んでいます。感染症が流行りやすい時期でもありますので、外から戻ったら、きちんと手洗い、うがいをするよう指導しています。ご家庭でもお子様に声かけをお願いいたします。学校では、必要に応じてマスクを着用の声掛けをしたり、換気をして空気を入れ替えたりするとともに、下記の4点を重点に指導していきます。

- 手洗いうがいをしっかりとする。
- 室内の喚起をしっかりと行う。
- 外で元気に遊ぶ。
- ポケットに手を入れて歩かない。

## 漢字検定について

#### 国語部

大田区小学生漢字検定の第2回目が2月13日(火)の1校時に行われます。「国語力の基本となる漢字の読み・書きの能力を身に付け、漢字に対する関心や認識を深め、国語を尊重する態度を育てる」ことをねらいとしています。受験級については、別紙にて配布します。お子様の希望を考慮して、ご家庭で決めてご提出ください。9月に引き続き、自分の選んだ目標に向けて練習し、正しく漢字の読み書きができる力を伸ばせるように指導しています。

## クラブ活動・委員会

#### 特別活動部

特別活動の一環として、4年生から6年生までの児童がクラブ活動に、5・6年生の児童が委員会活動に取り組んでおり、どちらも6年生が中心となって進めています。

委員会は、放送委員会や飼育委員会など8つの委員会があります。5、6年生が、分担して毎日仕事をするので、全校児童が学校生活を過ごしやすくなるようにしています。

クラブ活動は、SC科学実験クラブや絵画工作クラブなど8つあり、どのクラブもとても魅力的な内容を行っています。児童は、毎回楽しみながら活動を行っています。2月19日(月)には新4年生である3年生に向けたクラブ見学を予定しています。

## 図書室より

#### 読書学習司書

図書室では、季節の本や行事に関わる本を紹介しています。2月は節分。豆まきや恵方巻など、節分の行事や風習を紹介した本や、いろいろな「おに」が出てくる絵本などを集めたコーナーを用意しています。また、冬の寒い季節ならではの雪や水、気候に関連する本など、ちょっと難しい科学の本も紹介しています。その時々を、本を通して楽しんで学んでほしいと思っています。本校の昨年度の貸出冊数は、2万4463冊でした。児童一人あたり約64冊借りていることとなります。これからも読書を身近に、親しめる図書室となるよう取り組んでまいります。



## 子どもまつり

#### 特別活動部

1月19日に子どもまつりが行われました。今年度は、児童だけではなく、保護者の方や地域の方、また近隣の保育園や幼稚園もお呼びしました。それぞれのクラスでは張り切って準備し、学校中が盛り上がりました。当日もたくさんのクラスを回り、計画委員会から特製のエシシールももらってうれしそうな顔も多く見られました。忙しい中、当日参加してくださいました。保護者や地域の皆様ありがとうございました。



## キャリアパスポートの取り組みについて

#### 特別活動部

今年度も「キャリア・パスポート」の取組を行っています。児童は、学期ごとに生活や学習の目標を立てることで、活動の見通しをもてるようになったり、活動後に振り返りをしたりすることで、自己を評価して、自身のキャリア形成に生かすために行っています。小学校から高等学校卒業までの12年間継続して行い、いつでも自身を振り返ることができるようにします。3学期末には、1年間の振り返りを行います。引き続き、児童への温かい励ましのお言葉を「家の人から」の欄にご記入をよろしくお願いいたします。

## サポートルーム（特別支援学級）より

#### サポートルーム主任

サポートルームは小池小学校を拠点校とし、清水窪小学校、赤松小学校、洗足池小学校に教員が巡回して一人一人の将来への自立に向けた指導を行っています。

サポートルームでは小集団指導・個別指導という授業形態をとっています。小集団指導では、学級や学年の枠を超えてグループを組み、みんなで一つの目標を達成するために、チームワークを高めるための工夫や協力することの価値を学んでいきます。個別指導では児童が自分自身と向き合い、自分の力を最大限に発揮できるように自分に詳しくなったり自分に合っている方法を見付けたりします。

自分の個性を認められ、他者の個性を尊重できる経験を通して、社会の中で自他ともに大切にできる豊かな心を育てていきたいと思っています。

#### 研究だより

今年のサイエンスフェスティバルは2月14日(水)から21日(水)までの期間に学年別で実施します。

サイエンスフェスティバルでは、1年間取り組んできたSC科の学習をまとめ、自分たちの学びを発表します。子ども同士で発表を聞き合い、質問や意見交換し合うことで、新たな発見に気付いたり疑問をもったりして科学への興味・関心を高めることをねらいとしています。「科学大好き」な清水窪の子どもたちが「もっと科学大好き」になるように、この機会を充実させていきたいと思っています。